



はまなす荘の改築工事状況



吉田光延 画

発行  
 社会福祉法人いわき福音協会  
 はまなす荘  
 いわき市平中平窪字二堂田2  
 〒970-8002 ☎(0246)8711  
 編集責任  
 はまなす荘新聞編集委員会

四月から始まったはまなす荘の改築工事は、予定通り順調に進んでいます。第一工区である男子棟は、柱が建ち屋根が敷かれ、少しずつその姿を現してきています。

はまなす荘の利用者の皆は、町に買い物に出掛ける時、運動で歩いている時、家らしくなっていく建物を見て、早く出来上がるのを楽しみにしています。

新しいはまなす荘は、個室が中心の間取りですが、二人部屋、三人部屋もあります。時折自分自身は個室が良いとか、誰々さんと二人が良いとか自分の希望を話してきます。

また、現在は、仮設の建物の為に、スペースも狭く、なかなか思うようにできない日中活動も、新しいはまなす荘では、外での活動も含め、建物内にも活動の場が整備されます。

### はまなす荘改築について

所長：新妻 登

私達は、この暑い夏での仮設生活を何とか皆で乗り切り、九月のみはま福祉祭りや、楽しみグループ旅行など、日常生活でも余暇でも楽しみながら一日一日生活していきたくと思っています。

はまなす荘の改築工事は、前回もお知らせしましたように、十一月末に完成十二月引っ越しの予定であります。厳しい冬が来る前に、新居に引っ越し、クリスマス・忘年会を皆で楽しみながら、新年を新しい家で迎えられる事を待ち望んでいます。

また、私達は、障がいがあっても普通の生活ができるようこれまで地域生活移行を進めてきました。これからも、新しいはまなす荘を足がかりに支援を続けていきます。地域の皆様のさらなる御理解と御協力をお願い致します。



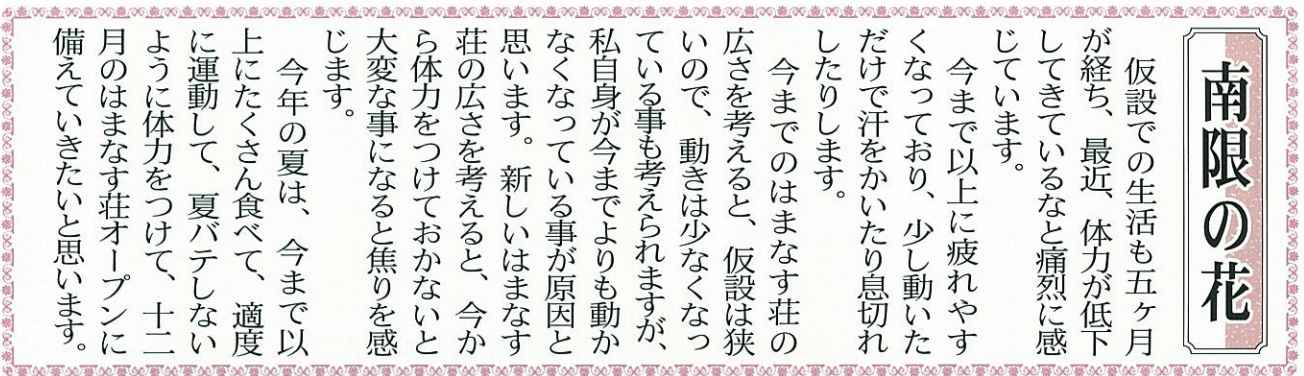
今年のはまなす荘の広さを考えると、仮設は狭いので、動きは少なくなっている事も考えられますが、私自身が今までよりも動かなくなっている事が原因と思います。新しいはまなす荘の広さを考えると、今から体力をつけておかないと大変な事になると焦りを感じます。

今年のはまなす荘の広さを考えると、今から体力をつけておかないと大変な事になると焦りを感じます。

### 南限の花

仮設での生活も五ヶ月が経ち、最近、体力が低下してきているなど痛烈に感じています。

今まではまなす荘の広さを考えると、仮設は狭いので、動きは少なくなっている事も考えられますが、私自身が今までよりも動かなくなっている事が原因と思います。新しいはまなす荘の広さを考えると、今から体力をつけておかないと大変な事になると焦りを感じます。



# お花見



五月十日(月)に石森山フラワーセンターにて、はまなす荘の花見が実施されました。今年の花見は、実施日が

## 障がい者総合体育大会



五月十六日(日)郡山西部スポーツ広場で、第四十八回福島県障がい者体育大会が開催されました。はまなす荘からは、十一名の方がフライングディスク競技に出場しました。当日は

例年より遅れてしまい、桜を見る事はできませんでしたが、当日は天候にも恵まれ、花壇に咲いている美しい花々をすがすがしい陽気の中、見る事ができました。

また、ボランティアの方々にも来て頂き、利用者の方々はとても楽しい一日を過ごす事ができました。

とても風が強い日であり、ディスクが風に流されてしまい、競技が一時中断になるほどでした。

参加した選手は競技までの待ち時間も積極的に練習に励んでいました。十一名中四名の方が、見事入賞することが出来ました。一生懸命にプレーしている選手達を見ると、全員が入賞してほしいと思いますが、勝負の世界は厳しく、今回は悔しい思いをする選手が多かったです。悔しい思いを胸に、また次の大会に向けて頑張っていきたいです。

## '10ふれあいレクリエーション

六月十八日(金) ふれあいレクリエーションが広野町にある『二ツ沼総合公園』で実施されました。

今回は、はまなす荘の改築に伴い体育館が使用できず、初めて外部の施設を利用しての開催となりました。

当日は、梅雨の時期に入り天候が心配されましたが、幸いにも晴天に恵まれ、夏のような日差しを浴びながら、

## あじさい会食会

梅雨のこの時期、お家中で過ごす事が多くなりますが、六月三十日に行なわれたあじさい会主催の会食会に多くの地域の皆様とはまなす荘の利用者と参加する事ができました。

レクリエーションやビンゴなど一時でも楽しく、色々な方々と交流をもてた事が良かったと思います。

ミュージックケアやグラウンドゴルフ、公園の散策等、心と身体を気持ち良く動かせ、心身共にリフレッシュさせるには最高の一日となりました。

また、今回も多くの保護者やボランティアの方々にご参加いただき、楽しく触れ合い交流を持つ事ができ本当にうれしく思っております。

今後全員で一体となり、心身共にリフレッシュできる

あじさい会の皆様やボランティアの皆様には、暑い中、時間に追われながら美味しいお弁当を作って頂いたこと感謝しております。利用者もいつもと違った雰囲気の中で食事をし、とても楽しそうでした。

四季折々の風情を楽しみながら今後も皆様の理解のもとこのような場があれば協力

時間を作るよう支援していきたいと思えます。



し、利用者に参加する事ができれば良いと思っております。



# 新・施・設 ポポロ



いわき福音協会では、はまなす荘等から地域に移行された方の為に、バックアップのふくいん、就労の場であるつばさ・かがやき、その方の移動や家事を支えるシャローーム等を開設してきました。

就労までは難しいが、地域での活動の場が欲しいというニーズが増えてきた事を受け、この度、新しい生活介護事業所ポポロを旧フジコシ衣料平窪店跡に建てる事となりました。

新しい建物には、生活介護事業所とグループホームのバックアップ事業所が、平成二十三年一月に事業開始します。地域の方々が気軽に立ち寄れる交流センターも設けておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

## 自治会 役員選挙



四月二十七日(火)、今年度も例年同様、食堂にてはまなす自治会役員改選選挙を行いました。

立候補してくれる方が、男女問わず、たくさんいましたが、会長一名・副会長長男女各一名・書記男女各一名という枠で、選挙を行ない、今年度の役員が選ばれました。

会長に秋元貞子さん、副会長に八巻隆さん・菊地初恵さん、書記に森山和仁さん・阿部恵子さんが当選しました。今回、初めて自治会役員になった方もいましたが、役割分担する事で、役員同士が協力して毎週火曜日に行なわれる自治会の司会進行を行なう事ができています。

## ピープルワンの招待行事



七月八日(木)、ボランティアアグルーのピープルワンによる招待行事があり、平にある鳳翔へ外出しました。

利用者さん十二名、職員二名、ピープルワン六名の合計二十名の参加となり、美味しい中華料理をお腹いっぱい食べて、ピープルワンの方々と利用者さんで色々な話をし、楽しい時間を過ごしました。参加した利用者さんは口々に「美味しかった」、「楽しかった」と、満足そうな感想が

聞かれ、ピープルワンの方々からも「良かった」との言葉が聞かれました。ピープルワンの皆様方、どうもありがとうございました。

## 参議院議員 選挙投票へ

七月十一日(日)は、参議院議員選挙投票日でした。

はまなす荘でも、職員付き添いにて平四小に投票に行きました。当日は、選管の方々・地域住民の方々の協力を得てスムーズに投票する事ができたように思います。

また、当日の参加が難しい利用者の方については、好間支所にて、平日の二日間定期日前投票を行いました。皆、どの方に入れようかと考えながら積極的に参加していました。

今後、はまなす荘では、積極的に選挙への参加をして

いき、自分達が少しでも住みよい社会を作ってもらえるようにしていきたいと思えます。

## みはま愛護の会 OB交流会

去る七月一日、初めてのみはま愛護の会OB会が古瀬屋で開かれました。

参加者は、はまなす・はまぎく・はまゆうから地域に移行した利用者の保護者と施設の利用者の保護者、理事長と歴代の施設長と経歴豊かな職員総勢六十名でした。

皆旧知の間柄なので、顔を見るなり「懐かしい！元氣？」との声があちこちで聞かれ、アツという間にタイムスリップし、昔に戻っていました。今回初めてのOB会でしたが、本当に同窓会のように楽しんでおり、懇親会の後も部屋を訪れ、名残を惜しんで夜遅くまで話したとの声が聞かれる等、思い出深い一日になったようです。

はまなすコラム

防災(避難訓練)係より

はまなす荘では、毎月、火災や地震を想定した避難訓練を実施しています。

仮設住宅は全く新しい環境であり、避難場所・避難経路について利用者の皆さんに何度も説明をしました。特に今年度は、夜間の火災を想定した避難訓練を多く実施しています。夜間や休日の職員が少ない状態での災害から利用者の皆さんを守る為、利用者の皆さんが互いに声を掛け合い、安全に避難する為の態度や知識を身に付ける為です。夜間に関しては職員は二名のみであり、一度に全員を避難誘導するのは非常に難しいです。その為、利用者の皆さんには自主的に安全に避難する事が求められます。

仮設住宅で初めて夜間を想定した訓練をした時は、火元の前を通って行く方や、避難後に勝手に居室に戻ろうとした方もいました。その後、繰り返し訓練を行なっていく中で「そっぢゃないよ。こっぢゃないよ」と声を掛ける方も見られるようになりました。また、利用者同士のペアを作ったり、避難

場所に旗を持って行き、目印になる利用者の方も設定しています。訓練後は毎回反省会を開き、改善に努めています。

これからも災害時のイメージトレーニングをしたり、施設の設備を熟知し利用者の皆さんに、安全で安心な生活環境を提供していきたいです。同時に、日々の訓練を通して、速やかに避難できる体制を利用者・職員共に力を合わせて作っていききたいです。

『避難で守ること』

- 走らない
- 喋らない
- 押さない
- 戻らない



職員の応急手当講習について

春先に続けて二度の救急車要請をした事態を踏まえ、今年度は、昨年実施できなかった職員の応急手当講習を一年間通して訓練できるように、計画を立案し、毎月一回実施しております。

訓練には、所長・次長・課長をはじめ支援員全員を対象とし、訓練内容は、心肺蘇生・AED使用について・その他の応急処置や、利用者個人の健康管理について、周知徹底するための時間を設けたりしています。また半年に一回は、平消防本部救急隊の方や、以前からはまなす荘に関わって頂いている防災アドバイザーの方等の協力のもと、指導を受け訓練しております。今後は、施設職員の普通救命普及員の資格取得者がさらに増えて、施設

内で活発に普及啓発活動が実施できるよう、医務からも働き掛けをしていきたいと考えております。

トピックス  
寄附者ご芳名

- イトーヨーカドー様
- 丹野 近 子様
- 遠藤 裕 希様

(順不同)

お悔やみ

自立訓練で、はまなす荘に通っておられた久保木泰宏さんが、平成二十二年六月十三日に永眠されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

ジリジリとした暑い日が続きますが、皆様、体調管理にはくれぐれも気を付けて、暑い夏を乗り切ってください。